

議事録

名 称	高知カツオ県民会議 カツオ消費・漁業分科会（第14回）		
日 付	2019年7月26日（金）	場 所	サニーマート 本社会議室
時 間	10:00～12:00	作 成	事務局：サニーマート 眞鍋
資 料	議題、出席者リスト、資料（幹事会まとめ、魚食活動まとめ、新聞記事など）		
出席者（敬称略）11名			
（サニーマート）中村、（高知かつお漁業協同組合）中田、（明神丸）明神、（明神船舶）明神、（土佐魚類）森國、（旭食品）福島、（高知県漁協組合）米沢、中元、（高知工科大学）浜田、（石田稔祝事務所）山内、（事務局）眞鍋			
議題および意見 全議題において要点のみ記載			
カツオ漁の状況			
<ul style="list-style-type: none">・ 近海ではカツオ漁の状況はよくない。一本釣りの食いが渋く、巻き網が獲ってしまっており、その網を嫌がって逃げる。・ 今はビンナガの時期だが、新聞報道にあったように非常に不漁となっており、一本釣り船の漁業者は非常に困っている。・ 市場には気仙沼など全国から集まってくるため、カツオは不足していない。長崎産も脂が乗りはじめた。・ 不漁に加えてアニサキスを嫌がり、全国的にはカツオを食べようという動きが消極的。テレビCMなどでもカツオを見かけなくなった。・ 広く知ってもらうためには、話題のユーチューバーにカツオ漁に挑戦してもらい、釣ったカツオを食べてもらおうといったことができれば面白いものになりそう。いろいろな人に興味をもってもらうことに繋がる。			
アニサキスに関して			
<ul style="list-style-type: none">・ アニサキスの発見を促す機器を導入し、冷やしこみなどで少しでも混入を防ごうとするが、天然である以上、虫もいれば、ゴリもあるのは避けられない。・ 生カツオを食べたい人もいれば、冷凍のほうが安心できるという人もいる。どうすれば冷凍品を美味しく食べられるかという事も研究されているだろうから、技術革新次第では今とは違った展開になることもありうる。			
幹事会の情報共有			
<ul style="list-style-type: none">・ カツオマイスターは6月申請分が規約見直しとなり、1ヶ月ほど停滞の予定。・ 土佐学びの日は10/26に予定されており、協力していく。城博講座のような取り組みも検討されている。・ 県民会議をNPO化していこうという動きのなかで分科会について今後は合同での開催予定。合同分科会は講演などの勉強が中心となりそうであり、これまでのような分科会を開催するかどうかは各分科会の意思に左右されそう。・ 日本遺産には落選となった。カツオに関する文化財が少なく、食文化という無形を推し進めていくことが難しい。また、日本遺産に当初期待したことが時間の経過とともに方向性が違ってきたため、再度挑戦する意義が失われた感が大きい。			
新聞記事などの情報共有			
<ul style="list-style-type: none">・ 高知新聞記事などを活用し直近の状況や活動内容について共有した。			
消費・漁業分科会の方向性を再協議			
<ul style="list-style-type: none">・ 合同分科会になるならば、消費漁業分科会としては活動がなくなる可能性もあるため、今一度、出席者の考えを聞いたが、異業種の集う場での情報交換は有意義であり、継続していきたいということになった。・ モノが溢れ、食べることに困らない時代で育った親自身の学びや理解が少ないなかで、その子供達への食文化の継承や魚食の普及は、学校での取組みが重要になるだろう。今は、関心の高い学校などが魚食に積極的なようだが、県民会議としても後押しできるならば行うべき。有識者や担当者との情報交換を行っていくようにする。			
次回予定			
次回、10/24 木、14 時開催 で予定			

以上